

|   |                                   |     |     |         |         |       |                |
|---|-----------------------------------|-----|-----|---------|---------|-------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング)  | 日本語コミュニケーションA<br>(CB204)          |     |     | 担当教員    | 佐野香織    |       |                |
| 展開方法  | 講義                                | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 2年・前期   | 必修・選択 | 選択             |
| 授業のねらい  |                                   |     |     |         |         |       | アクティブ・ラーニングの類型 |
| <p>本講義は、日本語教員養成課程の履修者の必修科目であり、「日本語の構造」研究分野のうち、「日本語学」について学ぶ。</p> <p>本講義は日本語の構造、意味、用法、表記、音声について一通りの基本的な知識や考え方を習得する。そして、日本語を世界の諸言語の一つとして客観的に観察できるようになること、さらに、内省を通して自身の日本語コミュニケーションを分析できるようになることを目標とする。</p> |                                   |     |     |         |         |       | ②④⑩            |
| ホスピタリティを構成する能力  | 学生の授業における到達目標                     |     |     |         | 評価手段・方法 | 評価比率  |                |
| 専門力   |                                   |     |     |         |         |       |                |
| 情報収集、分析力  | 現代日本語に関する情報収集、内省と観察による日本語使用分析ができる |     |     |         | 課題提出物   | 40%   |                |
| コミュニケーション力  | 日本語学の基礎を理解し、グループで意見交換ができる。        |     |     |         | 意見課題    | 30%   |                |
| 協働・課題解決力  |                                   |     |     |         |         |       |                |
| 多様性理解力  | 諸言語と日本語を比較し、日本語の特徴を理解する。          |     |     |         | 期末レポート  | 30%   |                |
| 出席  |                                   |     |     |         | 受験要件    |       |                |
| 合計  |                                   |     |     |         | 100%    |       |                |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明  |                                   |     |     |         |         |       |                |
| <p>日本語の観察・分析に関する課題提出物で70%、期末レポートで30%を評価する。</p> <p>提出物、意見シートに関しては、翌週の授業内容に反映させる。課題の内容も授業中にフィードバックを行う。</p>  |                                   |     |     |         |         |       |                |
| 授業の概要   |                                   |     |     |         |         |       |                |
| <p>日本語の表記、文字、文体、待遇表現、音声等を学習し、日本語の観察、分析を通して、日本語学の基礎を学習する授業である。受講生自らが「日本語」を観察し、「日本語」について考え、分析できるようになることを目標とする。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>   |                                   |     |     |         |         |       |                |
| 教科書・参考書   |                                   |     |     |         |         |       |                |
| <p>教科書：定延利之（編）『私たちの日本語』朝倉書店</p> <p>参考書：適宜紹介する</p> <p>指定図書：定延利之（編）『私たちの日本語』朝倉書店</p>  |                                   |     |     |         |         |       |                |
| 授業外における学修及び学生に期待すること  |                                   |     |     |         |         |       |                |
| <p>テキストの指定の箇所を必ず読んでください。空欄□に入ることを考えながら読みましょう。</p> <p>日常生活を送る中で気が付いた「身近な日本語」を観察し、疑問に思う姿勢を大切にしてください。</p> <p>本授業は双方向的なやりとり、活動を行います。積極的な参加を期待します。</p>   |                                   |     |     |         |         |       |                |

| 回  | テーマ                   | 授業の内容   | 予習・復習                             |
|----|-----------------------|---|-----------------------------------|
| 1  | オリエンテーション             | 「日本語」とはなにか、「日本語」のしくみについて考えるために必要なこと、用語の確認をする。 | 「日本語」のしくみについて知っていることを考えてくる。       |
| 2  | 日本語を観察する              | 身近にある看板や貼り紙の観察を通して、「日本語」を考えていく。               | 気になる看板や貼り紙を見つけ、写真を撮ってくる(予習)       |
| 3  | 日本語の特徴                | 日本語の形態素、文体、文字について学ぶ。                          | スマホやPCでよくしてしまう誤変換(変換ミス)例を3つ提出(予習) |
| 4  | 日本語の構文<br>書きことばと話しことば | 日本語の構文、書きことばと話しことばのちがいについて分析する。               | よく考えるとおかしい、と思う文を探してくる(予習)         |
| 5  | 日本語の表記                | 現代日本語の表記体系を概観し、特にカタカナの役割について学ぶ。               | 本や雑誌、看板のカタカナ表記例を3つ探してくる。(予習)      |
| 6  | 日本語の文字表現と音声           | 現代文字言語標記と音声言語の関係を考える。                         | オンライン上の日本語コミュニケーションに関して報告(予習)     |
| 7  | 日本語の役割語               | 日本語の文末形式を通して、役割語について考える。                      | マンガ・アニメなどの文末形式から役割語を探して説明する(復習)   |
| 8  | 日本語の規範                | サーチエンジンやコーパスを題材として日本語の規範と傾向について学ぶ。            | にほんごの「ゆれ」について調べてみる(復習)            |
| 9  | 日本語における副言語<br>(パラ言語)  | メールにおける顔文字使用について知り、分析する。                      | 自分が良く使う顔文字、絵文字を3つあげる(予習)          |
| 10 | 日本語のコミュニケーション         | 挨拶を例として日本語のコミュニケーションについて考える。                  | 初対面の挨拶スクリプトを考えてくる(予習)             |
| 11 | 日本語とポライトネス            | 断り表現を例として日本語の丁寧さ(ポライトネス)や待遇コミュニケーションを考える。     | 否定表現を使わずに断る例を考えてくる(予習)            |
| 12 | 日本語とアクセント             | 日本語のリズムを決定付ける要因としての高低アクセントについて解説する。           | アクセントの復習                          |
| 13 | 日本語の音声                | 日本語学習者の誤用を例に、日本語の音声の基礎を知る。                    | 音声の基礎の復習                          |
| 14 | 日本語の音声コミュニケーション       | 日本語教育の音声指導を例に、音声コミュニケーションについて考える。             | 音声コミュニケーションに必要な知識の復習              |
| 15 | まとめ                   | 日本語学習者がよくする質問について、これまで学んできたことを生かして考える。        | 期末レポート執筆準備                        |

| 授業科目(ナンバリング)   | 日本語コミュニケーションA(CB111)  |     |      | 担当教員    | 諸石 慈             |       |                |
|--|---|-----|------|---------|------------------|-------|----------------|
| 展開方法   | 講義  | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1 年・前期           | 必修・選択 | 選択             |
| 授業のねらい   |   |     |      |         |                  |       | アクティブ・ラーニングの類型 |
| この授業は留学生対象です。活動を通して、異文化理解を深めながら身近な話題（生活、アルバイトなど）でよく使われる文字やことばを理解できるようになります。さらに、トピックについての短い文章を読むことで文章中の文型やことばそのものの理解ができ、トピックに結びつけて使えるようになります。A2～B1 レベル（JF 日本語教育スタンダード）のコミュニケーションができるようになることを目指します。  |   |     |      |         |                  |       | ①②③⑨           |
| ホスピタリティを構成する能力   | 学生の授業における到達目標   |     |      |         | 評価手段・方法          |       | 評価比率           |
| 専門力  |   |     |      |         |                  |       |                |
| 情報収集、分析力   |   |     |      |         |                  |       |                |
| コミュニケーション力   | よく使われる文型やことばや表現が理解できる。<br>クラスメートとのやりとりを通して、自分の意見を述べることができる。                                   |     |      |         | 確認テスト<br>授業への参加度 |       | 50%<br>20%     |
| 協働・課題解決力   |   |     |      |         |                  |       |                |
| 多様性理解力   | Can-do の達成に必要なことばや表現を正確に理解することができる。<br>身近な物事について、自国と他国の文化や自分自身とを比較し、あらゆる面での多様性について理解することができる。 |     |      |         | 小テスト<br>活動       |       | 20%<br>10%     |
| 出席   |   |     |      |         | 受験要件             |       |                |
| 合計   |   |     |      |         | 100%             |       |                |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明   |   |     |      |         |                  |       |                |
| 評価は、活動10%、小テスト20%、授業への参加度20%、確認テスト50%です。<br>小テストは採点し返却します。<br>次の授業の課題や予習内容の指示は、ポートフォリオを通して行います。  |   |     |      |         |                  |       |                |
| 授業の概要  |   |     |      |         |                  |       |                |
| この授業では各課で使う文字とことばの練習をします。そして、トピックの短い文章を読んで、文章中の文型や文字やことばをトピックに結びつけて使えるように練習します。小テストがあります。<br>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とします。  |   |     |      |         |                  |       |                |
| 教科書・参考書  |   |     |      |         |                  |       |                |
| 教科書：『まるごと 日本のことばと文化 初級2A2 りかい』三修社、国際交流基金 編著<br>『まるごと 日本のことばと文化 初中級A2/B1』三修社、国際交流基金 編著<br>参考書：WEB資料 <a href="https://www.marugoto.org/download/">https://www.marugoto.org/download/</a><br>指定図書：『まるごと 日本のことばと文化 初級2A2 りかい』三修社、国際交流基金 編著<br>『まるごと 日本のことばと文化 初中級A2/B1』三修社、国際交流基金 編著 |   |     |      |         |                  |       |                |
| 授業外における学修及び学生に期待すること   |   |     |      |         |                  |       |                |
| 授業が終わった後、再度復習してください。<br>わからないことはそのままにしないで、自分で調べたり、先生に質問したりしてください。<br>やむを得ず欠席する/した場合は、授業前/後に連絡してください。   |   |     |      |         |                  |       |                |

| 回  | テ ー マ                      | 授 業 の 内 容  | 予 習 ・ 復 習                                      |
|----|----------------------------|--|--|
| 1  | オリエンテーション                  | 授業の流れ、評価方法について説明   | 予習) シラバスを読む<br>復習) 教科書を確認する                    |
| 2  | Tp5. L10<br>いいことがありますように   | 小テスト、もじとことば<br>毎年する行事や昔からの行事に関する文字と言葉を学び、話して練習します。       | 予習) L10 ことばリスト<br>復習) p. 94-95 のことば            |
| 3  | Tp5. L10<br>いいことがありますように   | どっかい<br>日本で毎年する行事や昔からの行事に関する文章を読みます。                     | 予習) p. 100<br>復習) p. 100,<br>L10 ことばリスト        |
| 4  | Tp5. L10<br>いいことがありますように   | 応用<br>母国で毎年する行事や昔からの行事について話し、相手の質問を参考にしながら話したことを書きます。    | 予習) 母国の行事を調べる<br>復習) L10 ことば、文型                |
| 5  | Tp6. L12<br>こっちの方が安い       | 小テスト、もじとことば<br>電気製品を買うために必要な文字と言葉を学び、話して練習します。           | 予習) L12 ことばリスト<br>復習) p. 144-145               |
| 6  | Tp6. L12<br>こっちの方が安い       | どっかい<br>日本の電気製品に関する文章を読みます。                              | 予習) p. 150<br>復習) p. 150,<br>L12 ことばリスト        |
| 7  | Tp6. L12<br>こっちの方が安い       | 応用<br>母国の電気製品について話し、相手の質問を参考にしながら話したことを書きます。             | 予習) 母国の電気製品について調べる<br>復習) L12 ことば、文型           |
| 8  | Tp7. L14<br>この絵はとても有名だそうです | 小テスト、もじとことば<br>博物館に関する文字と言葉を学び、話して練習します。                 | 予習) L14 ことばリスト<br>復習) p. 128-129               |
| 9  | Tp7. L14<br>この絵はとても有名だそうです | どっかい<br>日本の博物館に関する文章を読みます。                               | 予習) p. 134<br>復習) p. 134,<br>L14 ことばリスト        |
| 10 | Tp7. L14<br>この絵はとても有名だそうです | 応用<br>母国の博物館について話し、相手の質問を参考にしながら話したことを書きます。              | 予習) 母国の博物館について調べる<br>復習) L14 ことば、文型            |
| 11 | Tp8. L16<br>フリーマーケットで売ります  | 小テスト、もじとことば<br>リサイクルに関する文字と言葉を学び、話して練習します。               | 予習) L16 ことばリスト<br>復習) p. 144-145<br>L16 ことばリスト |
| 12 | Tp8. L16<br>フリーマーケットで売ります  | どっかい<br>日本のリサイクルに関する文章を読みます。                             | 予習) p. 150<br>復習) p. 150,<br>L16 ことばリスト        |
| 13 | Tp8. L16<br>フリーマーケットで売ります  | 応用<br>母国のリサイクルについて話し、相手の質問を参考にしながら話したことを書きます。            | 予習) 母国のリサイクルについて調べる<br>復習) L16 ことば、文型          |
| 14 | Tp9. L18<br>どんな子どもでしたか     | 小テスト、もじとことば<br>子どもの時の思い出に関する言葉を学び、話して練習します。              | 予習) L18 ことばリスト<br>復習) p. 160-161               |
| 15 | Tp9. L18<br>どんな子どもでしたか     | どっかい、応用<br>子どもの時の思い出に関する文章を読みます。自分自身の思い出を振り返りながら話し、書きます。 | 予習) p. 166<br>復習) p. 166,<br>L18 ことば、文型        |
| 16 | 確認テスト                      | 総合的な範囲のテスト   | 予習) 第2回～第15回分<br>復習) 特になし                      |